

東久留米市立第三小学校 第2学年

| 教科 | 学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析<br>(数値等で具体的に示す)  | 具体的な授業改善策及び目標値<br>(数値等で具体的に示す)   |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正確に読み書きすることや日常的に使用することができない児童が1～2割いる。</li> <li>構成に気を付けて文章を書く力が弱い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新出漢字の指導は、1日に2文字ずつ行い、毎日の家庭学習で練習を積み重ねる。</li> <li>文章を書く活動の際に既習漢字を正しく使っているか点検する時間を確保する。</li> <li>「書くこと」の指導を充実させ、「はじめ」「なか」「おわり」の構成を意識させ、7割以上の児童が書く活動の際に意識して書けるようにする。</li> </ul>                        |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>加法、減法の計算を確実にできていない児童が多い。</li> <li>繰り返しや繰り返し下がりが必要な問題と必要ではない問題の見分けがつかない児童が1割いる。</li> <li>時刻、時間を正しく読んだり表したりすることが苦手な児童が2割いる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>計算カードを継続的に家庭学習で行い、基礎的な計算、筆算を繰り返し練習する。9割以上の児童が繰り返し下がりや繰り返しの計算ができるようにする。</li> <li>具体物や図を積極的に活用し視覚的にイメージしやすくする。</li> <li>日常生活の中で時計を読んだり、タイマーを活用するなど視覚的に時間を意識できる活動を取り入れ8割以上の児童が理解できるようにする。</li> </ul> |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や地域との関わりについて、継続的に関心をもって取り組むことができるが、自分の言葉で表現することが困難な児童が2割いる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を見通した学習の計画を立てるとともに、体験だけで終わるのではなく、思ったことや気付いたことを書いて振り返るようにする。</li> <li>表現をする機会を増やし、みんなで表現のよさを発表し合うことでよりよい発表について意識を高めていく。次の学年に上がるまでに8割以上の児童が自分の言葉で表現できるようにする。</li> </ul>                           |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見を聞いて受け入れたり、物事を多面的、多角的に考えたりする力に課題が見られる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な意見が出るような、発問や展開を設定した授業づくりを意識して行っていく。</li> <li>お互いの考えを聞き、深めたり振り返ったりできる時間を確保する</li> </ul>   |